

獅子頭

- ◇ 指定日 昭和38年12月24日(2頭) 昭和58年12月13日(14頭)
- ◇ 所在地 宮町(市立図書館)
- ◇ 所有者 黒森神社総代会

山口地区に位置する黒森山に鎮座する黒森神社は、江戸時代までは黒森山ごんげん権現社などと言われ、権現様（獅子頭）を祀っていました。この獅子頭（権現様）を奉じて神楽を行うことから黒森神楽と称されています。

黒森神社には、南北朝時代初期の作とされる無銘の獅子頭1頭をはじめとして、文明17年(1485年)から明治27年(1894年)までの16頭がご隠居様として保存され、県指定文化財となっています。

獅子頭は、江戸時代の寛政8年(1796年)以前のものは1頭ずつですが、それ以降のものは2頭で一對となっています。

ご隠居様となった獅子頭は、どれもはう歯打ちなどでまもう磨耗しており、黒森神楽の巡行で権現舞に使用されて、人々にあんねい安寧を授けてきたことがしのばれます。



無銘の獅子頭(南北朝時代初期)



文明17年(1485年)の獅子頭